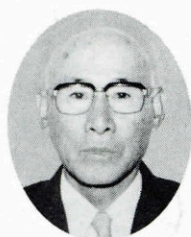


永年の尽力に感謝

援護事業功労厚生大臣表彰受賞

表彰状

山口県
中野市江殿
あなたは多年援護事業に
貢献されその功績はまさにと
顕著なものがあります
よってこれを表彰します
昭和六十一年十一月十五日
厚生大臣 増岡博之



中野市江氏
(下中小野)

十一月十五日、東京都で、昭和六十年援護事業功労厚生大臣表彰が行われました。
中野市江氏(下中小野)は昭和三十八年四月、三隅町傷痍軍人会長に就任し、以来二十二年の長きにわたり、戦傷病者及びその家族の援護事業に尽力されました。

その間、山口県傷痍軍人会常任理事、副会長として、戦傷病者とその家族の生活安定、組織の充実強化に努めるなど、援護事業の推進に寄与された功績は顕著であったので、高く評価されての栄えの受賞になったものです。

山口県ふるさとづくり

功労章受賞

十一月三日、長門市で開催されました第八回山口県ふるさとまつりに於いて、ふるさとづくりの実践活動を通じて、地域住民の自立と連帯の風土づくりに尽力し、その功労が

顕著であったとして、個人及び団体に山口県知事から功労章が授与されました。

受賞者名

個人

山田 恭輔氏(宗頭)

内山 芳二氏(土手)

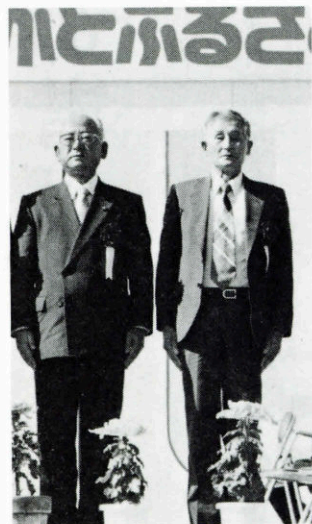
団体

沢江自治会殿

会長 中野 恒夫氏



知事より受与される沢江自治会長



山田恭輔氏(宗頭) 右側
内山芳二氏(土手) 左側

ともに生きる

障害を持つ人との交流 12月9日「障害者の日」

人間一人ひとりが違うように、障害をもつ人もそれぞれ違います。障害をもつ人一人ひとりが別の人格をもつ人間なのです。また、ひとくちに障害をもつ人といっても、障害の種類や程度はさまざまです。

このような障害をもつ人たちは、日常生活においてもさまざまなハンディキャップを負っていますが、それを取り

越え自立しようと努力しています。障害をもつ人みずからの努力とともに、社会が障害をもつ人たちを支えることは、とても大切なことなのです。

十二月九日「障害者の日」。九日から十五日までは「身体障害者福祉週間」です。これを機会に、障害のある人もない人も、ともに交流し、お互いの理解を深めていきましょう。

飲酒運転の防止

酔っていないと思っても 体は十分酔っています

「オラは死んだだけだ」という歌が昔流行したことがあります。この歌は酔っ払い運転をして死んでしまった人のことをパロディ化したものですが、この歌でも分かるように酔っ払い運転は、死を背負った運転といえます。

酒酔い運転はもちろんのこと、酒気帯び運転も道路交通法で禁じられていることは、ドライバーの皆さんは百も承知のはず。それでも、車を運転してしまう人たちの言い訳は「あまり酔っていないと思ったから」とか「少ししか飲んでいないから」「自分は酒に強いから」などです。しかし、いくらお酒に自信のある人でも、アルコールは体の機能に間違いなく悪影響を与えます。これから年末年始にかけて、何かとお酒を飲む機会が増えます。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を地域や職場、家族ぐるみで実践しましょう。